

南あわじ市 平成 21 年度 事務事業評価シート 新規 継続
(事業 委託 補助用)

I 基本事項

整理番号 667

事業名	農村交流事業補助金		予算科目	会計	一般会計・1
担当部課名	農業振興部	農林振興課		款	農林水産業費・6款
電話	0799 - 43 - 5025			項	農業費・1項
事業分類	<input type="checkbox"/> 義務的(法定)事務 <input checked="" type="checkbox"/> 任意的(自治)事務	法的根拠 (法令、条例、要綱等)		目	農業振興費・3目
南あわじ市総合計画 施策体系	まちづくりの柱	職__食__づくり__夢あふれ__働く場を生み出すまちづくり__			
	まちづくりの目標	ふやさんか__食づくりの担い手【農漁業】			
	施策目標	食づくりの源である豊穡の大地と海を守り、農業や漁業に携わる市民(若者、女性、元気な高齢者層など)を育てる			
該当する事業について「 」を選択		施策的事業	業務委託	負担金補助	

II Plan (計画、事業内容、事業背景)

事業概要	対 象 (誰を・どのような状況の人に)	
	農家	対象人数(人)
	目 的 意 図(どのような状態になってもらいたいのか、事業を実施する「本来の目的」を記入) 地元の人に協議会の意見交換の場を通して、現在の特産品及び地域の特色を再認識してもらい、新しい特産品・地域づくりの方向性を決めてもらう。	
	実 施 内 容 (何をどのような手段・内容・手順により目的を達成させるのか) 地域の農業を今後どのような指標に基づき推進するかを、地域の自治会・各種団体の代表を交えた市民参加型の協議会を発足させ、意見を交換しながら都市との交流を視野に入れた食の安全・安心をアピールする計画の策定を行う。	
	背 景 (どのような現状・課題・要望によって事業が実施されるに至ったか、他の自治体の動向など) 地域おこしなどの事業メニューが増える中、地元としての現状の把握や将来像があいまいな地域が多くある中で、計画書の作成の手順に慣れてもらったうえで、計画書に基づき国庫補助事業による実践事業が出来るようにする必要があった。	
事業実施主体	<input type="checkbox"/> 市直営 <input checked="" type="checkbox"/> 民間・その他 (地元協議会)	
事業期間	<input type="checkbox"/> 平成 年度 ~ 平成 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし	
合併協議事務調整内容	(合併前における事業実施団体と合併時における事務調整経緯)	
	<input type="checkbox"/> 旧緑町 <input type="checkbox"/> 旧西淡町 <input type="checkbox"/> 旧三原町 <input type="checkbox"/> 旧南淡町 <input type="checkbox"/> 旧広域事務組合 <input checked="" type="checkbox"/> 新市から	

Ⅲ Do (事業活動・成果、投入資源・コスト)

事業に対する 目標の設定	指標名	計画書の策定					指標単位
							有・無
	指標説明 (指標算出 方法等)	計画書の策定並びに地元への周知					
		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	
	目標値			1	1		
	実績値			0			
	達成度 (%)	-	-	0.0	-	-	
	目標値設定 の考え方	計画書の策定					
資源配分 (インプット)		平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	
	直接事業費 (千円)	0	0	0	400	0	
	補助金			0	400		
	財源 (千円)						
	国						
	県						
	起債						
	その他						
	一般財源[A]	0	0	0	400	0	
	人件費(正規職員)[B] (千円)	0	0	0	0	0	
	平均人件費(1日当り)	29.9	30.1	27.9	28.2	28.2	
	事業量1(事業に要した日数)						
事業量2(事業に要した人数)							
年間経費([A]+[B])	0	0	0	400	0		
「目的」対象人数1人当り経費 (円)	-	-	-	-	-		
経費に関する 補足説明	平成20年度の該当集落はなし。						

IV Check (事業の自己評価・一次評価)

	単位	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	
達成度	目標達成度	%	-	-	0.0	-	-
	(事業目標の達成度分析、問題点・課題などを記入。) 平成20年度からのスタートでしたが、他の国庫補助事業により同様の事業を実施したので、本事業としての実績はありません。21年度は、灘地区で実施している。						自己評価 (5点評価)
							1
有効性	(住民満足度の分析、問題点・課題などを記入。) 協議会の中で、地域の現状(環境、文化、産業)の確認や将来の希望、めざす地域のあり方などを熱心に論議し、また、コンサルタントの視点も入れた計画書を作成できたことは、今後の地域づくりに大変役立った。今後は、計画の具体化をどうするかを検討する必要があります。						自己評価 (5点評価)
効率性	事業単価	円	-	-	-	-	-
	(効率性・コストの分析、問題点・課題などを記入。)						自己評価 (5点評価)
							1
必要性	公共性の高低	<input type="checkbox"/> 高	<input checked="" type="checkbox"/> 中	<input type="checkbox"/> 低			
	(公共性、市民ニーズ、緊急性などを分析、問題点・課題などを記入。) 地元の自治会や各種団体の代表を交えた市民参加型の協議会により、都市との交流を視野に入れた食の安全・安心をアピールすることは、今後の農業振興にとって必要な取り組みである。						自己評価 (5点評価)
							3
総合評価	自己評価をふまえた現状分析 平成20年度に予定していた地区は、他の国庫補助事業により同様の事業を実施したので、本事業としての取り組みはない。 平成21年度には、灘地区の自治会や各種団体の代表を交えた市民参加型の協議会により、都市との交流を視野に入れた食の安全・安心をアピールする計画を策定した。灘地区に14ある自治会の会長からは、地区の現在の状況や地区の将来像を見つめ直すための機会となり、大変有意義であると好評を得ている。 計画を策定するだけでなく、今後、策定した計画書に基づき地元団体が実施する実践事業が大切である。						<div data-bbox="821 1541 1394 2121" style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p>評価グラフ</p> </div>

V Action&Plan (改善の内容及び次年度以降の計画)

	平成22年度にできる改善・改革	平成23年度以降にできる中期的な改善・改革
今後の方向性とその理由	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 手法見直し	<input type="checkbox"/> 現状維持 <input checked="" type="checkbox"/> 休止・廃止 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 予算充実 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 手法見直し
	取り組みを、策定した計画書に基づき地元団体が実施する実践事業に移行する。	同左。
(現状維持以外の改善方法)		
改善によって期待される効果	効果(アウトカム)面	効果(アウトカム)面
	コスト面	コスト面
(現状維持の場合も記入)	仮に 事業を中止、統廃合した場合に予測される影響(プラス面、マイナス面) 国庫補助事業が、平成21年度で廃止されたので、地域おこしの起爆剤になる事業がなくなってしまう。	